

北野秋男編集・解題

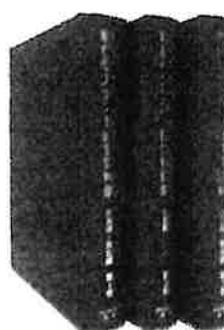
戦後学力テスト研究資料集

全3巻

近年、教育関係者でない方も、子どもの「学力が低下した」という報道を耳にしたことがあるだろう。教育界では、本当に低下しているかやその根拠も論争されてきたが、日本の、または各都道府県等の学力と表現した時点での、扱われているのは個々人の成績ではなくて、あくまで集団的に集計をした数値である。

学力のこうした問い方は主に戦後初期に始まった。それを論争史、運動史でたどる研究ならなされてきたが、各学力テストの設問やその解説、理念に立ち戻った研究は多くない。また、その根拠となる調査自体の引用も一部にとどまってきた。

「ナショナル・テスト」と言われる全国調査は研究されてきたのに対し、



B5判・約2000頁・110000円
クロスカルチャー出版
978-4-910672-38-0
TEL. 03-5577-6707

日本の学力テストの「今」と「未来」

「ローカル・テスト」の調査から見えてくるもの

金馬国晴

資料なのだ。

編者の北野秋男氏はす

でに『地方学力テストの

歴史 47都道府県の戦後

二年』(風間書房、二〇二

二年)という六五〇頁に

立するものであつたこ

と」(一頁)の解説であ

り、これは「日本の学力

テスト体制の革新性・先

駆性、ならびに多様性・

多元性を確認すること

もある」(同)とする。

関係、保護者、家庭文化

そして、「戦後の学力テ

ストの歴史を知ること

は、日本の学力テストの

「今」と「未来」を探る

ことである」(一頁)

と、端的に言う。

解題で整理された各県の特徴が極めて的確なのは、同氏の資料収集、選定、読解、分析の蓄積が

クロスカルチャー出版ニュース

2024.9.30号

北野秋男編集・解題

『戦後学力テスト研究資料集』

(全3巻)が『週刊読書人』

(2024年9月20日)に掲載されました。

わたくる研究書を刊行されている。本資料集はそこ

に整理・引用された冊子を膨大に掲載したもので、連動した出版となっ

ている。

本資料集の独創性は顕著

である。収録されたのが「ローカル・テスト」、すなわち都道府県や市町村で行われた調査に関する

・浸透する学力テスト体

原本は、地元の印刷所で製本されたもので、わら

半紙的な紙質の冊子もあ

う。書籍でないから

か、散逸したり、捨てら

れたりした例や、全巻が

か、散逸したり、捨てら

れたりした例や、全巻が

つからない例も多々ある

う。掲載されている資料には、全国に一冊しか発

記述があるのに現物が見

つからない例も多々ある

う。掲載されている資料には、全国に一冊しか発

記述があるのに現物が見

つからない例も多々ある

う。掲載されている資料には、全国に一冊しか発

記述があるのに現物が見

できる。こうした資料の版した経験をもつ私に

で、多大なご苦労が想像

できる。こうした資料の

は、多大なご苦労が想像

できる。こうした資料の

は、多大なご苦労が想像</